

名古屋市議員 上村みちよの議会報告（委員会）



本項においては
経済水道委員会における本年度の予算について上村議員の質問・要望をご案内します。
A.の表示がされているものは、当局の担当者の答弁です。

■なごや観光ルートバス「メーグル」の運行について



名古屋市は自動車への依存が高く、二酸化炭素の排出量削減は大きな課題となっています。

自動車の燃料として、植物や生物に由来するバイオ燃料を使用すれば、植物や生物が成長の過程で二酸化炭素を取り込む量と、燃料として排出される二酸化炭素の量とが等しくなり、実質的に二酸化炭素を増やしません。

その中でもミドリムシとよばれる藻の仲間の微生物から燃料を作り、バスやトラックを走らせる取り組みが既に行われており、東京都ではミドリムシの燃料で西部バスが走っています。

名古屋市でも、低炭素社会の実現に向けて、ミドリムシ由来のバイオディーゼル燃料の活用について、実証実験をしてはどうか、と環境局に尋ねました。

環境局からは、地球温暖化対策の実行計画の中で、『次世代バイオ燃料』を実際の車両を使って試験走行を行い、燃料の安定的な確保やコストなどの課題を実証する旨、回答がありました。

なごや観光ルートバス『メーグル』が次世代バイオディーゼルとして走らせることができれば、名古屋市を訪れる世界中の人々に名古屋市が『環境都市』であることをPRすることができます。

■小中学生起業家育成事業について

イノベーションやスタートアップを創出するためには、若い人たちに対する土壌づくり、特に小中学生の起業意識の醸成が非常に重要になってきます。これまで一定の成果を出していると思いますが、令和4年度に大きな拡充をされるので、さらに成果を出せるよう、プログラムの内容について、しっかりと検討していただき、効果的に事業を進めていただけるよう要望しました。

■文化のみちの推進

A.文化のみちの各施設では、新たな客層へのPRとして、若年層や親子連れ、外国人向けといった企画事業の実施を検討しています。また建中寺に代表される江戸時代に焦点をあて、文化のみちの更なる魅力の発信に努めてまいります。

■スタートアップブランド形成事業

このプログラムでは、女性以外の世界で活躍している起業家とも関わっていくことができると思いますので、起業家として、女性という枠にしばられず、大きく羽ばたいていただけるように、しっかりとサポートしていただけるよう要望します。

上村みちよの今伝えたい

7月の下旬、40代の女性から「政治は遠い場所にあり、意見を言ってもどうせ聞いてもらえない」というお話を聞かせて頂く機会がありました。

彼女の話聞いて、もしかしたら多くの方がそのような思いでいるのかもしれないとその後しばらく考えておりました。上村みちよは皆さまのご意見に耳を傾け、「聴く」ことを日々大切にしていきたいと思っております。

ご意見のある方はぜひ、上村みちよまで【お声】を聴かせてください。

【我が身を抓って人の痛さを知れ】

今、日本はコロナ第7波真っ最中、皆さんの生活が一変してから早3年が経とうとしています。マスクをする日常、行動制限とストレスを大きく感じる生活をしていることには間違いありません。人は置かれた環境によって、人に優しくする事もできるし、自分勝手をする事もできます。

これは特別な事ではなくそれだけ必死に生きているという証です。しかし、今ここで優しさを忘れてしまえば分断の社会へと繋がります。

自分の持っている苦しみは人もまた同じ。人の感じる痛みもまたしかり。今、この時代に必要な事はまさに【思いやり】だと強く感じております。違う考え方を持っているのは当たり前。大切な事は、私とは違う考えたかの人もいるのだと受け止める事。それもまた思いやりではないでしょうか。

上村みちよに今伝えたい

どうか心に溜めているお声をお聴かせてください。
皆さまのご意見が社会を変えるきっかけになるかもしれません。

上村みちよは皆さまの代弁者として市政へ届けて参ります。

052-265-6727 または上村みちよ uemura-michiyo.jpのお問合せよりご連絡ください。

あなたの声を
聴かせてください

